



御神忌 千百二十五年
半萬燈祭
未来へつなぐ誠の心

令和9年 | 2027

北野天満宮

梅苑「花の庭」公開

菅公御歌
東風吹かば匂ひおこせよ梅の花
主なしとて春を忘るな

特別
公開

KYOTO NIPPON FESTIVAL

— 時をこえ、華ひらく庭 Beyond time, the garden blooms —

雪月花の三庭苑 梅苑「花の庭」インスタレーション

蜷川実花 with EiM

春の訪れとともに咲き誇る北野天満宮の梅苑「花の庭」を舞台に、アーティストの蜷川実花と
クリエイティブチーム with EiM によるインスタレーションを実施。自然とアートが融合した幻想的な空間が広がります。

開催日時	令和8年 2月1日(日) — 5月24日(日) ※休苑日有
入苑時間	午前9時～午後8時(受付終了) 午後8時30分(閉門)
前売チケット料金	大人 2,800円 / こども 1,400円
当日チケット料金	大人 3,000円 / こども 1,500円

風月殿 イマーシブシアター「花宵の大茶会」

DAZZLE × 蜷川実花 with EiM

日本のイマーシブシアターを牽引するダンスカンパニー DAZZLE と、蜷川実花 with EiM による初めてのコラボレーション

会場 北野天満宮 風月殿
会期 2026年3月20日～5月24日 ※休演日有
公演時間 60分予定
前売チケット料金 プレミアム:15,000円／一般:10,000円



全国天満宮総本社

北野天満宮

令和再興

雪月花

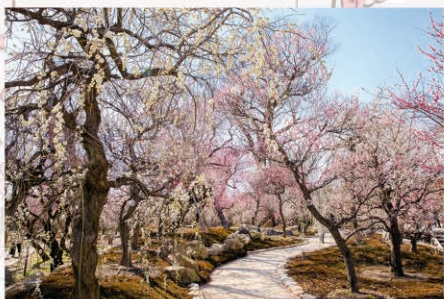
の三庭苑

令和八年 北野天満宮 梅苑「花の庭」 公開

北野天満宮「花の庭」

清水寺「月の庭」

妙満寺「雪の庭」



令和九年菅公千二百二十五年半萬燈祭に向けた記念事業として進めてきた菅公ゆかりの当宮梅苑を令和四年「雪月花の三庭苑」のひとつ北野「花の庭」として再興いたしました。

江戸時代に俳諧の祖と仰がれた連歌師松永貞徳により作庭された「雪月花の三庭苑」は、江戸時代、寺町二条の妙満寺（現在は左京区岩倉）の「雪の庭」、清水寺の「月の庭」、そして北野の「花の庭」それぞれが成就院（成就坊）という塔頭に造られた三庭苑として、その名を馳せました。

美しく整えられた梅苑「花の庭」をぜひご覧ください。

松永貞徳作庭「雪月花の三庭苑」

日本の古典に精通し、歌人であり、連歌を学んだのち、俳諧という新しい分野を開拓した松永貞徳は、多くの文化的遺産を遺しました。この「雪月花の三庭苑」も貞徳の遺した大きな文化遺産のひとつであるといえます。

「雪月花」とは、中国の「白居易」の漢詩「寄殷協律」の一節に詠われた「雪月花時最憶君」からの語であり、我国では萬葉集のなかで大伴家持が雪月花の和歌を詠むなど、「雪月花」は古くより日本の美意識の基準となつて参りました。

「白居易」は日本文学にも大きな影響を与えたといわれ、平安時代、稀代の文化人であり我国における漢詩や和歌・連歌の大祖と讃えられた菅公も、白居易に影響を受けた一人であつたといわれています。

江戸時代になり、先人に学んだ松永貞徳もまた和歌・連歌の神として菅公を敬仰し、「雪月花」一度に見する 卯木かな など、様々な俳諧や和歌を遺し、自身が作庭した三庭苑には、この「雪月花」の名が冠されたのであります。

清水寺に立ち東山の月を観る、妙満寺の庭より比叡の雪を眺める、北野の神域で梅花を愛でる、この日本人の愛した自然の美を体現する三庭苑は、まさに京都の誇る文化であり、北野の「花の庭」再興により、妙満寺「雪の庭」、清水寺「月の庭」とともに、令和の「雪月花の三庭苑」として、京都の新たな魅力を、多くの人々に感じていただくことを心より願っております。

KYOTO NIPPON FESTIVAL

時をこえ、華ひらく庭

二〇二六年二月一日（月）
〜五月二十四日（日）
北野天満宮



全国天満宮総本社
北野天満宮

右記QRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込むと北野天満宮の最新情報にアクセスできます。
X (旧Twitter) でもご案内しております。

お問い合わせ
TEL 075-461-0005




公式 X 公式 HP



アクセス

嵐電（京福電車）北野白梅町駅より徒歩5分
JR京都駅より市バス50系統
JR・地下鉄二条駅より市バス55系統
JR円町駅より203系統
地下鉄今出川駅より市バス51・203系統
京阪三条駅より市バス10・51系統
京阪出町柳駅より市バス203系統
阪急大宮駅より市バス52・55系統
阪急西院駅より市バス203系統
※いずれも北野天満宮前下車すぐ